

## 質問書に対する回答

（件名）首都圏中央連絡自動車道 高谷川高架橋附帯工設計

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	金抜設計書及び 特記仕様書2-2-1 現地踏査	現地踏査の対象は参考図にある現計画の調整池 14 箇所の範囲について、行うと考えてよろしいでしょうか。 その場合、現地踏査の編成及び日数については『附帯工設計－附帯構造物設計』に基づき算出すると考えてよろしいでしょうか。	現地踏査の範囲について、現計画の調整池14箇所に係る高谷川高架橋管理用地内を対象とするものです。 現地踏査の編成及び日数算出については、附帯構造物設計を想定しております。
2	金抜設計書及び 特記仕様書2-2-2 調整池計画検討	特記仕様書の記載に、「調整池の位置や形状を施工性、経済性、現地条件等から再検討」を行うこととあります。 本業務における再検討とは、前記の各条件から適合・不適合性を見だし、変更の必要がある場合は、その提案を行うことと考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	その通りです。
3	金抜設計書及び 特記仕様書2-2-3 調整池擁壁基礎構造設計	特記仕様書の記載に、「調整池計画検討の結果で L 型擁壁構造の調整池とした場合に基礎構造の再設計を行う」とあります。 擁壁基礎について比較検討を行い、最適な基礎構造について設計を行うものとするとなりますでしょうか。ご教示願います。	その通りです。
4	金抜設計書及び 特記仕様書2-2-4 防草対策工設計	「防草対策工設計」について、標準歩掛かりがありません。参考歩掛かりをご提示いただけるのでしょうか。	防草対策工設計の算出について、見積の採用を想定しております。なお、参考歩掛かりの提示はありません。